

口腔粘膜疾患

口腔粘膜に変化が見られる疾患を、口腔粘膜疾患と呼ばれています。

口腔粘膜は、唾液により保護されています。

しかし口腔内は微生物が存在し完全に排除する事は不可能で、食物摂取や会話などの物理的および化学的刺激を受けやすく、局所の安静が保ちにいい場所でもあります。

口腔粘膜疾患の種類は数多く認められます。様々な刺激によって症状が変化することもあります。多くの疾患の原因がはっきりしないのも特徴で、的確に分類することが難しいため、慎重に対処することが必要と考えられています。

口唇炎・口角炎・舌炎・ 炎症性角化症(扁平苔癬など)

アフタ症状や病変に応じて必要な検査(血液検査・病理組織検査など)を行います。

病変は多彩なため、症状に応じた薬物療法などの治療を行います。



写真1: アフタ



写真2: 口角炎



写真3: 舌炎
(正中菱形舌炎)



写真4: 口腔扁平苔癬

感染症（カンジダ症、単純疱疹、帯状疱疹など）

血液検査や細菌検査、あるいは病理組織検査を行い、全身疾患と関係する場合も考慮して慎重に診断します。全身的な治療が必要になる場合には他科と連携して行います。



写真5: 口腔カンジタ症

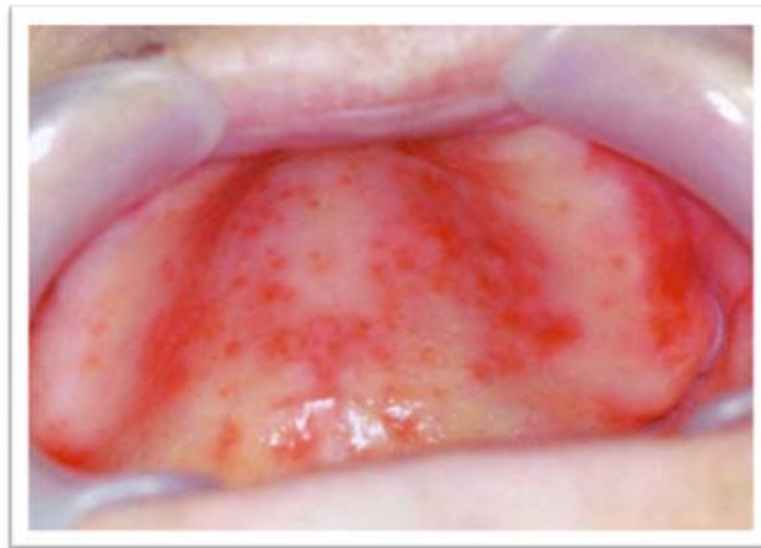
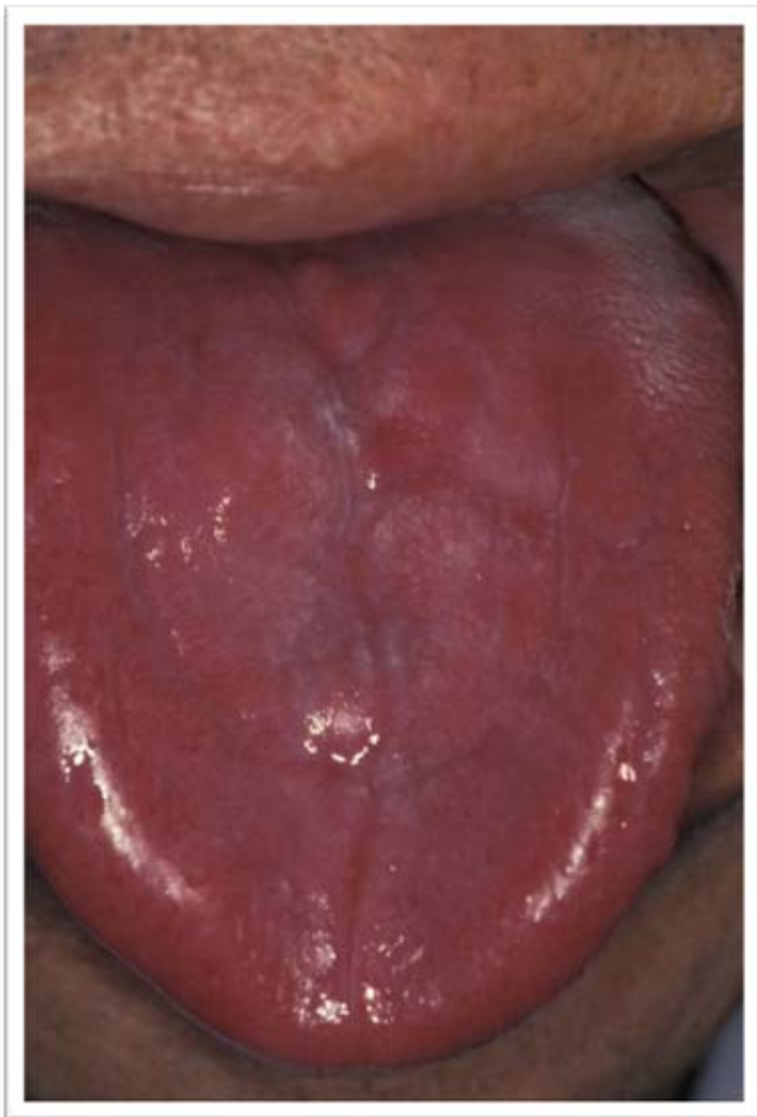


写真6: 口腔カンジタ症

口腔カンジタ症の治療には抗真菌薬を使用します



写真7: 単純疱疹



写真8: 帯状疱疹

治療には抗ウイルス薬を使用します

腫瘍性疾患（白板症、紅板症など）

正確な診断を行って悪性腫瘍と鑑別する必要があります。病理組織検査で疾患の種類を特定し、切除や厳重な経過観察を行います。



写真9: 白板症



写真10: 白板症

白板症は5～10%は癌化と言われています

口腔乾燥症・シェーグレン症候群

全身に関連することがあるため、他科と連携して診断や治療を行います。この疾患の病態はまだ分かっていないことが多いと言われています。

精度の高い診断をつけるために、検査を複数組み合わせて行い診断します。

主な訴えである乾燥に対する治療を目的とした対症療法を行っています。